

# 小学校高学年《5・6年生》のみなさんへ

夏休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2013年版]

	書名 作者名 出版社	内容
絵本	<b>「いわたくんちのおばあちゃん」</b>  天野 夏美 作 はまの ゆか 絵 主婦の友社	いわたくんちのおばあちゃんは、写真をとられることをいやがります。そこには悲しい理由があったのです…。ひばくから60年目の夏に、ある小学校で実際に行われた平和を考える授業。そこで語られた1枚の写真をもとにしたお話です。
図書	<b>「外国から来た魚」</b>  松沢 陽士 著 フレーベル館	水中カメラマンが目の当たりにした日本の水中の現状とは？日本で急速に分布をひろげているオオクチバスを中心に、大量の外国の魚にせんりょうされている日本の川や湖の水中の様子を、写真とともにしょうかいています。
図書	<b>「車イスバスケットで夢を駆けろ」</b>  京谷 和幸 著 金の星社	発足したてのJリーグでかつやくした京谷和幸さん。しかし交通事故でせきずいを損しようした彼は、リハビリで出会った車いすバスケットでパラリンピックを目指します。Jリーガーから一転、車いす生活へ、そして再び夢をつかむまでの半生を追います。
図書	<b>「21世紀版少年少女世界文学館 6 宝島」</b>  井上 靖 企画編集 講談社	ジム少年は、トレローニさんや医者のリブシー先生とともに、海ぞくフリント船長がうめた、ばく大な財ほうをさがしに船を出します。ぶきみな1本足の海ぞくシルバーのいんぼうにまきこまれ、はげしい戦いが始まります。手にあせにぎる海洋ぼう険小説の名作です。
図書	<b>「つくろいものやはじめます」</b>  水沢 いおり 作 石橋 富士子 絵 偕成社	お江戸の町に、さいほう箱から飛び出したあやかしたちが始めた、つくろいものやがありました。お店をひらいて10日後、はじめてやってきたお客さんは、黄金色をした、めずらしい布地を持った女の子で…。

	書名 作者名 出版社	内容
図書	<b>「バッテリー」</b>  あさの あつこ 作 佐藤 真紀子 絵 教育画劇	そうだ、本気になれよ。本気で向かってこい。子どもだとか小学生だとか中学生だとか、関係ないこと全部すてて、おれの球だけ見ろよ。多感な時期を野球に明けくれてすすすす少年たちが、生き生きとえがかれています。
図書	<b>「夏の庭」</b>  湯本 香樹実 作 徳間書店	12歳の夏、ぼくたちは「死」について知りたいと思ひ、「もうすぐ死ぬんじゃないか」とうわさされる、一人暮らしのおじいさんを見張り始めましたが…。三人の少年と、ごどくな老人のかけがえのない夏が始まります。
図書	<b>「願いがかなうふしぎな日記」</b>  本田 有明 著 PHP研究所	おばあちゃんから「書くと望みがかなう」日記帳をもらった光平。両親が仲直りしてほしい、泳げるようになりたい。そして、光平にはどうしても実現させたい願いが…。
図書	<b>「真夏のオリオン」</b>  福井 晴敏 文 網中 いづる 絵 講談社	太平洋戦争末期、アメリカのくちくんのはげしいこうげきを受けた。日本のせんすいかんのかん長は、海上に放出する乗組員のい体に、「真夏のオリオン」と題された1枚の楽ふをたくしました。
図書	<b>「ユウキ」</b>  伊藤 遊 作 上出 慎也 画 福音館書店	転校生の名前は、いつも「ユウキ」。祐基、悠樹、勇毅…。思い出といたみを残して去っていった転校生たち。そして今、ケイタの目の前に、長いかみをしたひとりの女の子が現われました。